

第272回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 令和3年10月11日(月) 11:00~12:30

2 開催場所 宇都宮東武ホテルグランデ

3 委員の出席 委員総数 5人
出席委員数 5人

(1) 出席委員の氏名 小笠原 伸 (委員長)
君島 理恵 (副委員長)
青木 敬信
新井 啓泰
高橋 淳

(2) 放送事業者側出席者 鈴木 峰雄 (代表取締役社長)
佐藤 望 (放送部長)
高賀茂 沙緒里 (放送部)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

2021年9月3日と10日に放送した番組「譚譚会 presents Start in life」について、
試聴と意見交換をおこなった。

事業者：

譚譚会の山村理事長(DJ-T)をメインパーソナリティに、「コロナ禍」「ニューノーマル時代」を豊かに生きるためのヒントを探る番組です。今年5月にスタートしました。

月に2組程度ゲストをお迎えして、「コロナの前と後で変わったこと」、「こんな時代だからこそ、改めて気づいたこと」、「これからの展望」などを伺っていきます。

ゲストは譚譚会の職員の方をはじめ、栃木県内で活動しているアーティストや、飲食店をはじめとした会社経営者の方など、多岐にわたっています。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：番組前半に番組説明やゲストについての詳しい説明がなく、フワッとしている。
そこをきちんとしていれば、もっと聴き入ることができた。

委員：山村理事長とDJ-Tが結びつかない。理事長という名をもっと出してもいいのではないか。

委員：全体的に悪くない。これはこれで面白いと思う。

委員：ゲストの堀井さんは話が軽めで、ラジオに乗せると少し聴きづらかった。

委員：美容室業界の話は面白かった。経営の話をもう少ししてほしかった。

委員：「客のリターン5割でカリスマ美容師」という定義に驚いた。
これは堀井さん独自の定義なのではないか。本人が思い付きで話をしている印象。

委員：堀井さんはどういった経緯で選ばれたのか。
美容室・経営・友人の病気など色々な話を聴いてきたが、納得できる形にまとまっていなかった。

委員：全体的に質問が足りない。また、なぜそうなったのかという説明も足りない。
疑問が残る。もっと掘り下げてほしかった。

委員：そんなに打ち合わせをせずに収録を始めた印象。
最初に狙いを話してもらえると良いと思う。

委員：山村理事長と、ディレクター大貫さんの声の区別がつかない。名乗ってほしい。

委員：ラジオ番組として、レディオベリーが作る番組として、これが成立しているのか疑問。
山村理事長は、内容に満足しているのか。

委員：坂巻さん（サオリン）は、どこに出ているのか分からなかった。

委員：「Start in life」というタイトルはとても良い。
しかし、タイトルと内容が合っていないのもったいない。

委員：狙いは悪くないので、構成を良くすればと思う。

委員：山村理事長は人や話が好きな印象だが、プロではないので、話をまとめるのは難しいと思う。
なので、テーマを絞ったり、スタッフが前に出て関わっていくことが大事になってくる。

委員：「ニューノーマル」という言葉は曖昧。
この言葉を出すのであれば、ニューノーマルの、どの部分をヒントにするのかなど
最初から最後まで絞って伝えていくと良いのではないか。

委員：出演・制作までスポンサー自身が関わる場合の番組の質の向上というのは
大きな課題だと思う。局のイメージ・全体の質の保持のために今後何をしていくべきかが重要。

(以上)

(2) その他
なし

(3) 次回開催日程について
次回の開催を11月15日(月)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日
(1) 放送 11月7日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
(2) 書面 本社事務所に備え置き
(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし